

会 議 録

会議名 (付属機関等名)	令和3年度第3回川西市 PTA あり方検討会		
事務局 (担当課)	教育推進部 教育政策課 (内線3351)		
開催日時	令和4年2月5日(土) 10時から12時		
開催場所	検討会:Web 会議システムによる開催 傍聴席:川西市役所 2階 202会議室		
出席者	委員	野崎構成員、福本構成員、乾 構成員、池内構成員、 古谷構成員、秋葉構成員、熊手構成員、若生構成員 小和田構成員、岡田構成員	
	その他	越田市長、石田教育長	
	事務局	中西教育推進部長、岩脇教育推進部副部長、 的場教育政策課長、池田教育政策課主査、 榎本教育政策課主任	
傍聴の可否予定	可	傍聴者数	6人
傍聴不可・一部不可の 場合は、その理由			
会議次第	1.開会 2.議題 最終報告書について 3.今後の予定について 4.閉会		
会議結果	審議経過の通り		

審議経過

事務局	【開会】 出席者の確認 資料の確認 教育長挨拶 議事
座長	<p>2年半続けてきた会議だが、今日が最終回になる。未来志向となるような会議のまとめにしたいと思うので、最後ではあるが忌憚のないご意見を頂戴したい。</p> <p>今日の会議の進め方としては、完成形に近い報告書が形になってきているので、これを皆さんとの協議で鍛え上げていきたい。そして本日いただいた意見を踏まえながら、座長、副座長と事務局で最終調整し、仕上げた原稿を皆さんに提示させていただき、了承をいただく流れで進めさせていただきたいと考えている。その方向で進めてよいか。</p> <p>それでは、まず報告書の目次を確認していただきたい。1から7まで章立てしているが、大きく分けて三部構成になっている。1から4が第一部として、PTAに関する基本的な内容をまとめている。次に5が第二部となり、令和元年度にまとめた中間報告書の内容を反映させている。中身としては今日的課題と改善策になっている。そして6が第三部となり、これからのPTAのあり方を提示している。今年度の協議にはこの部分が大きく関連しているので、特に皆さんと協議したい箇所である。</p> <p>このあとの協議では、まず第一部と第二部のところについて、協議をさせていただく。ひと段落着いた時点で、後半の第三部について協議をしたい。第三部については、皆さんもご意見があると思うので、時間をしっかりとって協議したいと考えている。その上で、最終的な内容は、調整させていただきたい。以上のような流れで進めさせていただいてよろしいか。</p> <p>ではまず、一部と二部にあたる1から5までの内容から確認していきたい。まずは、それぞれの項目について一通り説明させていただくので、その後、皆さんからご意見を頂戴したい。</p>

<p>構成員</p>	<p>それではまず1ページをご覧ください。そこにはPTAについて、一般的な内容を示している。「3PTAの目的」というところでは、PTAが何をやる場所なのか、PTAの守備範囲にあたる内容を記載している。</p> <p>具体的には、4点を提示させていただいた。3の(1)は学校運営への保護者の参画という点で記載している。これは在籍している児童生徒の保護者という前提で、その学校園の構成員として、学校運営に参画していくことが、PTAの役割のひとつということである。3の(2)については、学校の教育活動をより良くするための支援を図るために教職員との連携を担う役割である。3の(3)は、地域との円滑な連携を担う役割である。3の(4)は、社会教育関係団体として、親が育つための学びの場という役割である。これは研修会等だけではなく、日常的な子どもや保護者もしくは先生との関わりの中で、親が育つ意味がある。この4点である。</p> <p>次に「4PTAを取り巻く現状と課題」というところは、PTAが発足してから70年程度経っている中で、生じている課題などについて記載しており、第二部に続く内容となっている。</p> <p>それが3ページに記載している検討課題であり、法律の改正やSNSの普及など、社会状況の変化が進む中で、PTAがクリアにしなければいけない今日的な課題である。ここでは、加入の意思確認、個人情報の取り扱い、会費の徴収方法、役員を選出方法の主に4つの課題を示している。</p> <p>そして5の(2)において、その問題に対する改善案について示している。この点は、この間、教育委員会から学校園長会や教頭会で周知していただき、多くの学校園で、課題に対する改善が進んでいる状況にある。まさに今、進めて頂いている状況だ。これは、全国的に同じ課題として認知されており、他自治体でもクリアにしていこうという動きがある。</p> <p>ではここまでのところで、構成員の皆さんからの意見等頂戴したい。また、報告書の修正については、皆さんから見え消しなどで書き出して事務局に提出いただきたいと考えている。提出いただいた内容を踏まえて、最終調整の作業を行いたいと考えているので、見て分かるような形で修正いただきたい。提出方法については、事務局よりご連絡していただくので、その心づもりでお願いしたい。</p> <p>では今説明した1から5までについて、構成員の皆さんからご意見を頂戴したい。</p> <p>「3PTAの目的」に対してだが、PTAの活動をしていると、どうしても学校への協力という活動だけに留まっている単位PTAも数多く見られる。今回、道しるべとして示していただくにあたり、地域の方との交流や保</p>
-------------------	---

	<p>護者同士の主体的な学びということを書いていただいております、よりこの部分を強調していく必要があると思っています。「学校で学ぶ」だけでなく、地域や家庭でも子どもは学んでいる。ある意味で、地域も家庭も学校というような捉え方ができると私は思う。その点を強調しなければ、保護者が学校だけに集中してしまい、地域や家庭の学習が疎かになってしまうと感じている。子どもの環境を全体的に良くしていくという考えであれば、3の(3)や(4)について、川西市のPTAのあり方としてはもっと強調する必要がある。</p>
<p>構成員</p>	<p>私が気になったのは、「学校(教職員)」という表記がいくつかあるが、「学校」という立場と「教職員」という立場を、PTAの中では別として考える場面もあると思う。「学校」には公共の立場というイメージがあるが、任意団体であるPTAに参加する会員と考えれば、「教職員」というバックヤードをもってPTAに参加するという形になると思う。そう考えると、「学校」と「教職員」を同列で書いていい部分もあるが、表記を変えてほしいと思う箇所がいくつかあった。あり方検討会の中では何度か発言してきたが、その学校に携わる大人、つまり「教職員」や「保護者」というバックグラウンドを持っている人たちが、自主的・主体的に活動する場がPTAだと思っているので、そこを区別して考えていく必要があると思う。</p>
<p>構成員</p>	<p>学校の内部のことを地域の人間は分からないが、いろんな行事を通じて学校側と繋がりを持ち、その父兄とも親密に関わりを持つことになるので、非常に大切に我々の地域ではやってきている。</p> <p>小学校のPTA会長からは、3月に「子ども祭り」として何か催し物ができないか提案をいただいた。コミュニティとしては協力してあげたいが、コミュニティがあまり表に立たない方がいいので、スポーツ21が受け皿となり、子どもたちのためにゲームや模擬店を出そうという話が現在進行している。</p> <p>やはりPTAや学校の方が地域との関係を大切に思っただけならば、話はスムーズに進んでいるように私は感じている。他の校区においても話をしながら協力し合って進められていると聞いている。そういう地域は、学校や保護者の仲がうまくいっているのだと思う。この報告書にも話し合いの大切さが書かれているが、まさにその通りで、そのウエイトが非常に大きいと思っている。今は中学校単位で地域学校協働本部を立ち上げて物事を進めていこうとしているので、幼稚園、小学校、中学校それぞれでまとまっていくべきだと思う。つまり、今の時代においては、地</p>

<p>座長</p>	<p>域や学校、保護者それぞれの考えを伝え合うことが、いかに大切かということはこの PTA あり方検討会を通じて、私は非常に痛感している。</p> <p>今お話があった学校運営協議会や地域学校協働本部については、本市でも、精力的に取り組もうとしているところなので、その点については、先ほどの「3 PTA の目的」のところで入れ込みたいと考えている。</p>
<p>副座長</p>	<p>3の(4)保護者の主体的な学びという点で、私が最近強く感じていることは、保護者の塊(PTA)によって、支援しなければならない保護者や家庭を横のつながりで助けていただいております、これがこれからの新しい目的になるのではないかと考えている。</p> <p>つまり「主体的な学び」というと、どうしても敷居が高く、時間のある方がカルチャースクールで勉強するようなイメージを持ってしまう。保護者の中には、子どもと同じように孤立化し、どうしたらいいか悩んでいる人がおり、そうした人たちに PTA が横の繋がりでアドバイスをすることで、助けていただいたと実感するので、そうした点を、保護者の主体的な学びと合わせて、「保護者の支援」や、「横のつながりによる支援」というような文章として入れられるといいと思う。</p>
<p>座長</p>	<p>特別支援学校の PTA の活動がまさに孤立化を防ぐ意味をもっている。孤立化しているお母さん、お父さんたちが特別支援学校の PTA に参加することによって、小学部1年生から高等部3年生まで12年の間で、年長の保護者から、小学部1年生の保護者がいろんな話を聞いて孤立感を薄めていくための貴重な場として、特別支援学校 PTA というのは存在している。コロナ禍で加速している孤立化を予防的に、もしくは発展的に解消していけるツールとして、PTA の目的があるという指摘であった。</p>
<p>構成員</p>	<p>3の(2)の学校園との連携による支援の2つ目に記載されている「優先順位を付けるなど活動を整理し」というところは正直難しいと感じた。保護者だけでは何に優先順位をつけたらいいか、なかなか見通しを持って考えることが難しい。幼稚園の場合は、規模も小さいうえに、毎日の送り迎えなどで保護者と園はコミュニケーションがとれており、コロナ禍でもできる取組を模索しながら進めることができている。新しい活動をする喜びも感じられている。これを学校に当てはめると、難しい面があると感じる。</p> <p>3の(3)地域との連携による支援の2つ目に記載されている保護者、学校園と地域との話し合いの場や子どもたちの支援につながる活動を行うことについては、コロナ禍でなかなか顔を見合わせて話をする機会が</p>

<p>座長</p>	<p>ない中、見直して整理されて無くなった活動もあるが、必要だと感じる活動は残っている。残っている活動には、参観日や学級懇談の間に地域の方が子守りをしていただくボランティアなどがある。現在はコロナ対策で休止しているが、復活を望む声が多数あり、そうした声は地域の方に伝えるようにしている。</p> <p>3の(4)保護者の主体的な学びについては、何をやりがいとしてできるか、幼稚園の送り迎えなどのタイミングで保護者と頻りに話をしている。例えば3月に行ってきたお別れ会をどうすればできるか、保護者と相談しながら考えており、新しい形を生み出すことができた時には生みの喜びも味わうことができている。</p> <p>先ほど申し上げた特別支援学校のPTAと同じで、幼稚園もPTA活動の原点である。一番PTAとして機能しているところでもあるので、そこでの取組は小学校、中学校、高等学校においても、基本的なことは取り入れられると思う。</p>
<p>構成員</p>	<p>学校は子どもも教師も保護者も育つ場所でありたいと常々考えている。その中で、3の(4)保護者の主体的な学びということが取り入れられているということは、学校への協力のみならず、保護者の学びの場となるという新しい側面だと感じる。一方でそれが、子育てや仕事、介護などがある保護者の生活の中で、時間がある方だけが参加するようなことではなく、全ての方が参加できるような形が考えていきたいと思っている。</p> <p>また、4ページの5の(2)問題点に対する改善案で書いているようにPTAの本質の部分と今日的な状況の中での運営方法の両方を考えられるような報告書になっており、非常にわかりやすい。これをぜひ教職員にも見せて、理解を促したいと思っている。また、教職員だけではなく、全ての保護者、これから保護者になる方に周知をすることで、今のPTAの状況を理解することにつながると思う。</p>
<p>構成員</p>	<p>先ほど副座長が話されていたが、3の(4)保護者の主体的な学びの中で、保護者同士の横のつながりがとても大切だと思う。保護者から学校に色々相談をいただくが、保護者の中で横の繋がりがあれば解決できそうなことも多く、そういう意味でも、保護者同士の横のつながりが今とても大切だと感じる。</p> <p>また、今までであれば入学と同時にPTA会員になるような形であったが、これからは入会の意思確認をすることで会員と非会員と分かれる。その点では、保護者同士の「分断」にならないように気を付けていく必要</p>

	<p>があると思っている。これは、「2 PTA とは」の2行目に記載されている「全ての児童生徒のために活動する」ということが PTA であるということとを再度確認しておく必要があると感じている。</p> <p>「学校（教職員）」という記載だが、教職員は学校で子ども達に関わる、教育をする、成長に向けての支援をするという点では、PTA に入会してるかどうかに関わらず、PTA 活動にも協力していくことになる。ここでの記載では、PTA 会員としての教職員というよりも、学校という立場の教職員で書かれていると認識している。教職員に関しては、入会の有無に関わらず同じ思いでやっていくことになると思う。</p> <p>記載の中で、「学校（教職員）」と「学校園（教職員）」が混在しているので、統一する方が良い。</p>
<p>構成員</p>	<p>保護者の主体的な学びというところだが、私の PTA では、保護者向けに色々なセミナーをオンラインで開催した。働いている方が後から見ていただけるようにも工夫したが、全保護者にはなかなか伝わらないのが現実としてある。</p> <p>PTA がこれまでと変わってきていることについても、一番伝えたい保護者に届かない。困っている保護者にも伝えたいが、そういう方にも届かないので、ジレンマを感じる。何かできないか考えてはいるが、そういう保護者が一番はじめに PTA をシャットアウトしてしまうので、どのように関わりをもったらよいか、今後の課題だと思う。</p>
<p>座長</p>	<p>昨今では「情報弱者」という言葉があるが、情報から取り残され、それが加速してしまうと、情報格差が広がってしまうという懸念があるので、注意が必要だ。</p>
<p>構成員</p>	<p>情報格差もあると思うが、PTA が嫌われていることが根本的な要因だと思う。PTA 嫌いの方は、こうした報告書ができて読まない。今までの PTA から変わった部分を伝えても、興味がない人には本当に伝わらない。</p> <p>「主体的な学び」ということは、私もやってみたいと思うが、そういうした PTA の魅力もなかなか伝わらない。誰もが参加しやすい PTA づくりということが一番難しいと感じる。強制されることも無くなり PTA がやりやすくなったと思っている人は少ないように感じている。無くなったならやらなくてもいいと考える人もいると思う。</p> <p>川西市はここ3年弱で本当に PTA が変わってきた。活動を強制している PTA はほとんどないと思う。それでも保護者全体に行き渡っていない。どれだけ私たちが伝えようと努力しても、行き渡っていないという実感がある。</p>

座長	<p>そうした現状ではあるが、この報告書を作っただき、これから保護者一人ひとりが前向きに取り組む必要があると感じている。</p> <p>長年、PTA 活動のご経験がある方として、保護者に何をお伝えしたいと思うか。</p>
構成員	<p>無関心にならないでほしい。「PTA」という言葉を聞いただけで、嫌悪感を示す保護者がほとんどであった。無関心にならず、少しでも興味を持っていただき、「無理やり何かをさせる団体」というようなイメージとは違うということを伝えていきたい。本当にできる人ができる時に参加して、子ども達や地域のために活動ができる団体だということアピールしていきたい。</p>
座長	<p>他校種の PTA 活動にご経験がある方として、幼・小・中で温度差を感じるか。</p>
構成員	<p>幼・小・中・高と活動してきたが、幼稚園は子どもに直接関わることが多いので、保護者の理解がとてであった。幼稚園は規模も小さいため、周りの目を気にする面もあると思う。</p> <p>小学校では、子どもがまだ小さい家庭が多いので、保護者がフルタイムで働いている方が多くない。フルタイムで仕事をしている方は役員を免除するなどの対応をしており、子ども達のために何かしたいと思う保護者も多く、比較的理解があったと感じている。</p> <p>中学校になると、生徒自身が主体的に行動できるようになるので、保護者の無関心が強まっている印象がある。</p> <p>高校にもなると、子どもがどんどん大きくなるにつれて、学校に対する保護者の関心はさらに無くなっていく。手が離れるにつれて学校への興味がなくなっていくというイメージがある。</p>
座長	<p>PTA は、人それぞれ一人ひとりにいろんなイメージがある。PTA と一括りにせざるを得ないが、小学校、中学校、高校、幼稚園、特別支援学校といろんな団体がある中で、若干温度差をもうけながら丁寧に考えていく必要がある。</p> <p>前半部分については、一通り意見をいただいたので、後半部分に進ませてください。後半部分は、今後の PT に関する提言として、この報告書において一番コアの部分になると思っている。</p> <p>まず、5 ページにある 6 の (1) 基本的な考え方をご覧いただきたい。</p>

ここには、前回の検討会で私がお話した時代のキーワードをもとに記載している。まず、ダイバーシティ(多様性)という点であるが、就労形態や考え方などさまざまな多様性が、学校園の中で加速してことが予想される。そういった中で2つ目のキーワードであるインクルーシブ(包摂的)とは、排除しないということだ。多様な考えやその存在を排除しないという考え方が大切である。そして最終的にサステナブル(持続可能)な組織かどうかというところが、PTAのあり方のベースになる。

つまり、多様な保護者や子どもがいる中で、PTAに参加しない方もいるが、そうした方も排除せずに、その方の考え方も踏まえた上で、子どもたちのために、もしくは学校や地域のために何が出来るかを考え続ける。持続可能な組織としてどうするべきかを考え続けることが、基本的な考え方として据えるべきだと思い、この内容を提案させていただく。

次にそういった考え方に基づいて、6ページの6の(2)に「PTA活動における道しるべ」という言葉で示している。その中に「保護者同士の話し合い」「PTA 連合会の役割」「県や地区のPTA との交流」「先生方との協議」「学校によるサポート」「教育委員会によるサポート」「地域との協力」という7項目を指標として示させていただいている。この7項目について、文言も含めて、追加や削除などの検討をいただきたい。

最後に8ページ以降には、課題となっている今後のPTAのモデル案を示している。基本的な形は8ページに小学校の例を示している。具体的なモデル案は9ページから記載しており、モデルAが「学校園への参画を重視する」モデルである。これは、掃除や見守りなどの学校支援活動を中心にするのではなく、主にその学校運営に参画することを重視するモデルである。

次にモデルBはコミュニティスクールとの連携を中心にしたモデルを示している。さらには地域学校本部事業との協力や連携ということも視野に入れた形を示している。

そして、 において具体的な活動のモデルをAからCで示し、 において具体的にどういった方にその活動を担っていただくのかを記載している。

最後の11ページ以降については、単位PTAに協力して頂いたアンケートから、それぞれで取り組まれた活動の一部を紹介している。単位PTAのノウハウが蓄積されているので、そうした実績をプラスアルファの資料として掲載している。これ以外にも事例があれば情報提供いただきたい。それでは、後半部分について皆さんからご意見をいただきたい。

構成員

12年間PTAに携わってきたが、皆さんに伝えることは非常に難しいと感じる。PTAの活動は皆さん頑張っていたいていいるし、保護者や地域

の皆さんは、子どものためなら協力したいと言っているが、それでも盛り上がってこない。4月、5月に新しいPTAが始まったらまた同じことを伝えて、また同じことが始まる。これを毎年繰り返している。これは、1年を振り返るということをしていないことが原因ではないかと考えている。1年の活動は計画があるが、保護者同士、学校と保護者、地域と交わった保護者などがみんなで話し合っ、今年1年間どんな成果があり、どんな失敗があったかというような話し合いを行う文化が川西にはなかったのではないかと。それがなかったために次の年も同じことが繰り返されており、高まっていけない。末端の皆さんにも声が届かない。役員の方以外、PTAが何をしているかわからないという状態が繰り返されている。

なので、今回の報告書の中には、1年間の最後にみんなで集まり1年を振り返る機会をもつ、といった例を記載できないか。そうした文化を取り入れていかないと、このままでは毎年同じことを繰り返して、同じ課題で毎年悩むことになると思う。そうした部分を記載した方が良い。

座長

極めて重要な指摘である。冒頭でお話をしたサステナブル(持続可能)というのは、PDCAとセットであり、すべての組織においてPDCAサイクルというものがないと持続性は担保されないと思う。

副座長

「道しるべ」として、この報告書を読んだ時に、「ピン」と来る内容が必要だと思う。まず、入会の意味確認、個人情報取扱、会費徴収の方法の3点については、全国共通で改善が必要な問題なので、必然的に解消に向かっていく。

では、PTAがこれから残っていくために、みんなが「それだ!」と思うようなアイデアが出てきたかということ、実はそういうわけでもない。川西市では今までそれを検討してきて、この道しるべの中で、その内容をまとめていかないといけない。

そもそもPTAの改革は、法的な問題があった3点を改革することから始まったが、改革するうちに結局何も残っていないという状況も全国的に少なくない。やはり学校にとっても、保護者にとっても、地域にとっても、PTAが必要だと思うことがなければ、持続可能で包括的な組織にすることはできない。ここに、なぜPTAなどの保護者の塊が必要なのかという議論を入れる必要がある。

最近の話題では、もうすぐ兵庫県の公立高校で推薦特色の入試があるのだが、これには追試がないという大きな問題がある。県教委にも申し入れてきたが改善されていない。保護者や子どもはとても不安になっていた。それについて保護者と話し、校長から3年生の生徒には休む

<p>構成員</p>	<p>ことを促す連絡をした。私はこういう話し合いの場が PTA のあり方で、保護者と学校の関係だと思う。</p> <p>形式的なことをシステムチックにすることも大切ではあるが、コロナということから我々は、その時々で具体的なことを話し合える関係を保護者と持たなければ、学校の運営はさらに難しくなることを学んだので、組織作りを進める上で、そうした視点も必要になる。そういう意味では、それぞれの PTA が問題点を吟味し、ここから新しい道しるべへ進もうとする時に、こうした最近の問題とリンクして考えられるような表記にできると良いと感じた。</p> <p>先ほど PTA の現場で、無関心に苦勞しているという意見が出ていたが、地域の課題と非常に共通点があると感じている。そんな中で、PTA が今変わってきていることで、コミュニティ連合会の中でもいろんな意見が出ており、PTA に対する負担軽減をそれぞれ取り組んでいる。少しずつ前に進んでいると感じている。これからも学校を含めてこの良好な関係を続けていきたいと思う。</p> <p>その中で、保護者の就労状況の変化もあり、無関心の方が増えてきているが、地域の中でも無関心層がたくさんいる。そこを今後の課題として、我々は考えていかなければいけないと思っている。ただ少しずつ関係が改善されていることも実感している。地域も頑張っていくので、これからの PTA も頑張っていたきたいと思う。</p>
<p>座長</p>	<p>この会がスタートして2年半になるが、一番の成果は市民の皆さんが PTA について真剣に考えるきっかけとなり、PTA が担ってきた役割やその必要性を改めて確認できたことだ。</p>
<p>構成員</p>	<p>PTA は、先生が仕事として、親は親としてという枠を超えた社会教育活動だと思う。その社会教育活動が、学校の運営や教育活動の充実につながっていることに PTA の必要性がある。そしてその充実した環境が、教職員にとっては働きやすさに繋がり、保護者にとってはそれが安心に繋がっている。さらにその働きやすさや安心という部分が、子どもたちの健やかな成長に繋がるというような「連鎖」を生んでいると思う。</p> <p>今後、この報告書で PTA 活動を謳っていく時に、こうした部分を強く推していきたいと思っており、保護者だけではなく教職員にもそうした思いを実感していただきたいと思う。</p>
<p>座長</p>	<p>7 ページに図を記載しているが、子どもの成長が中心になるが、保護者や先生、地域の方にとっても学びや成長の場になっている。</p>

<p>構成員</p>	<p>10ページの PTA 活動のモデルCに「PTA 研修会」と書かれているが、保護者の親学習は幼稚園の PTA でも引き続き取り組んでいる。例えば、食育として、小学校入学に向けて保護者が不安に思っている「給食」や毎日の忙しさから興味のある「時短メニュー」などをテーマにし、地域の小学校の調理師に毎年来ていただいて食育の学習会をしている。働く保護者が増えているので、開催のお知らせの仕方やタイミングの工夫が必要である。早めに知らせることが保護者の参加につながっている。</p> <p>また、参加できない保護者に対しても時短メニューのレシピを配付するなど工夫することで、次回以降の参加を促すことにつながると思っている。</p> <p>PTA 活動の担い手にあるモデルA「エントリー制」については、保護者の負担が気になる。大規模園であった頃は「1家庭2活動」というルールで活動していたが、家庭事情が変わってきた今では、活動の参加も難しくなっている。</p> <p>保護者は少しのことでも負担や不安を感じることもあるので、ボランティアとして気軽に参加できる形にする方がいいと思う。</p> <p>先ほどの話にもあったが、参加してない保護者にも情報提供することは必要だと思う。人との関わりが苦手な保護者もいる中で、窓口となる役員がいたり、普段から声かけをしたりすることで、人とのつながりを持つことができ、安心感が得られると思う。そうした保護者をケアすることが大切だと思っている。</p> <p>先ほど年度末に1年を振り返る機会が必要だという意見があったが、私も同感だ。毎年年度末には、1年間活動を共にした仲間とお別れすることの寂しさがあり、それだけ1年間楽しく、充実した活動ができたということなので、そうした点を役員選出や引継ぎの時にしっかり発信していくべきだと思う。そうした発信をすることが、次の方のやる気や活動の見通しにつながると思うので、大切にしていきたい。</p>
<p>座長</p>	<p>活動の魅力を発信することが必要だ。社会教育活動の強みはクリエイティブなところだ。その時の会長や役員がやってみたいと思うことを、比較的实现しやすいという点は、社会教育活動の魅力のひとつだ。</p>
<p>構成員</p>	<p>保護者の皆さんは、管理職の方々や PTA 経験者など、上から伝えられることに飽き飽きしているように思う。そうしたやり方では伝わらなくなっていると感じている。そこで PTA 連合会では、皆さんの話を聞く機会をたくさん設けるようにしている。こちらから伝えるだけでなく、現場で取り組んでいる方から話をさせていただくことで、我々連合の役員が</p>

<p>座長</p>	<p>学ぶことも必要だと思い取組を始めている。今までの流れだけでなく、そうした取組を取り入れていくことが必要だと思う。</p> <p>8 ページに組織のモデル図が記載されているが、こうしたピラミッド型の組織は時代にそぐわなくなっている。</p> <p>見た目のイメージも大切なので、横向きにするなどの工夫することで印象を変えられると思う。</p>
<p>構成員</p>	<p>今までは専門部、学年部があり、「これをやらなければならない」「例年通りにしないといけない」という意識が強かったが、そうした部分は、最近ではずいぶん解消されてきており、柔軟な形で各単位 PTA も取り組むことが出来ていると思う。</p> <p>また、6 ページに保護者同士の話し合いという記載があるが、話し合いだけでは人が集まらないと思う。その前段階として、保護者が興味をもちそうな楽しめる企画があれば、参加したメンバーから口コミで広がり、参加者が増えていくと思う。今の PTA が面白いものだと思ってもらうための工夫が必要ではないか、と感じている。</p> <p>学校にとって PTA は色々なことを相談できる相手であり、制服を変える時や行事の日程を見直す時には、PTA 役員に相談して決めたこともあるが、学校だけで決めきれなかったことを PTA に相談することで、具体的に動き出すことができた。また保護者からの要望を聞くなど、お互いに相談し合える関係ということがとても大切だと思う。</p> <p>今年度はコロナの影響により、なかなか集まって話をすることはできなかった。来年度は定期的に集まり、出し合い話だけでもできる時間を設けたいと思っている。そうした小さなところから、少しずつ輪を広げていくことで、主体的な PTA 活動につながると考えている。</p>
<p>構成員</p>	<p>10 ページの「 PTA 活動の担い手」について、先ほどの話でも出ていたように、前例踏襲したり、今までのやり方を繰り返したりするのではなく、目的や意味を整理し、柔軟な発想でやり方を変えていくことが必要だと思う。</p> <p>集まった人数でできる活動を検討すると報告書にも記載されているが、必要最小限の人数を整理して募集をかけても、その人数に達しないという現状もある。</p> <p>6 ページの「 PTA 連合は各単位 PTA をサポート」について、単位 PTA は、それぞれ様々な事情や悩みを抱えながら、日々取り組んでいる。そこで、先ほど PTA 連合会から単位 PTA の話を聞くという取組の紹介があったが、是非単位 PTA の声を聞いていただき、個別の具体的なアドバイス</p>

	<p>をいただきたいと思っている。そういう意味で、PTA 連合会には単位 PTA 同士をつなぐハブのような役割になっていただきたいと思っている。</p> <p>7 ページの「教育委員会が話し合いの場を設定」については、校長会が定期的開催しているので、そうした場で現状の PTA について意見交流をし、学校長が学校の教職員に周知するというのも一つの方法として考えられる。そうした意見交流の場を活性化することも、今後大切になると感じている。</p> <p>人と人は、体験を通して共感したり、相手を理解したりすると思うので、体験を共にするということが、とても重要になる。これは、話し合いの場だけではなく、イベントなど様々な体験を保護者同士や教職員と共にすることで、お互いの理解が深まっていくと思う。</p> <p>PTA 連合会では校長会や教育委員会との懇談会など話し合いの場は設けているが、体験を共にするという機会はないので、今後 PTA 連合会としても、いろんな方たちと体験を共にできるような活動に取り組んでいきたいと思っている。</p> <p>5 ページの「6 (1) 基本的な考え方」に「PTA はその時代によって求められる保護者のニーズに応えるために」と記載されているが、保護者のニーズに応えるということに違和感がある。適切な言葉は思い浮かばないが、保護者に限定するのは少し違っていると思う。</p> <p>また同ページの最終行に、「保護者は互いの状況を理解し、協力し合うことが重要である」という記載があるが、この点は保護者だけでなく、「保護者と教職員が互いの状況を理解し」という記載にしていきたい。</p>
<p>構成員</p>	<p>PTA 活動の担い手については、どこの単位 PTA も苦戦していると思う。単年度で終わらないよう、様々なアピールをしているが、同じ人が様々なポジションを兼務している現状がある。実際、私は来年度小学校の会長を兼務することになっている。</p> <p>私自身は、小学校も変えていきたいと思っているし、やりたいことをやっていきたいのだが、果たして皆さんの考えが変わってきているのか不安を感じる。また OB の方との関わりにも不安があり、どのようにつながっていけばいいのか悩んでいる。</p> <p>担い手不足はこれからも課題になると思うので、同じ人が兼務してもできるように、会議を減らすなど活動内容に変えていく必要がある。そうして兼務できることもアピールにつながると思っている。担い手不足が近々の課題だと思うので、改善できるように取り組んでいきたい。</p>

<p>構成員</p>	<p>次の担い手は今後の課題だと思う。6ページにPTA活動における道しるべを7つ挙げていただいているが、一番のスタートは、保護者同士の話し合いになると思う。やる気のある人たちだけがやるということにも私は疑問を持っている。保護者の皆さん全員に自分事として考えてほしいと思っている。そのことをどのように皆さんに理解してもらうのか、ということが一番根本的なことだと思う。</p> <p>これまで何度も話題になっているが、無関心な人はやはり多い。しっかり話をすれば伝わるのだが、ひとりひとりにそれを言う時間や場所が無い。あまりPTAのことを知らない保護者の方に、できる範囲でやることをやればいい、ということをお伝えすると、「そんなことでいいなら全然参加できる」というリアクションもあったので、PTAの状態を説明することが必要だと思う。</p> <p>しかし、無関心の方や、PTAをシャットダウンしてしまう方はどうしても多いので、時間をかけて丁寧に説明することから、一番はじめにしていかなければならない。それがしっかりとできた状態になってから、地域や学校との話し合いもあることを順を追って伝えた方がいい。</p> <p>今の状態でそれだけを伝えると、学校や地域とつながり、PTA活動にやる気のある方と、PTAに全く興味が無い方との差がとても開いてしまうと思う。一般的な市民団体であればそれでいいと思うが、学校という場所はそういうのではないと思う。やはりみんなで子どもたちの環境を整えた方が、みんなにとってプラスになると思うので、今後、全保護者が参加できるような状態にしてきたいと個人的に考えている。</p> <p>このような道しるべがあることはいいのだが、現場の感覚としては、まず保護者が変わらないといけないと思っている。</p>
<p>副座長</p>	<p>担い手不足は、現場にとってはとても大きな課題であり、永遠の課題だと思う。私もPTA関係の研修では、「保護者全体」に「協力してくれる層」と「協力してくれない層」があることを図で示し、いかにこの無関心な層に働きかけるかということをお話するが、結局そこは堂々巡りになってしまう。先程、親睦活動という話も出ていたが、最終的に保護者の関心を高めるためには何が必要かと言うと、それは「実際学校で明日起こる事明後日起こること」に尽きる。</p> <p>例えば、本校ではSNSを用いて保護者向けに、コロナ禍での出席をどうするかなどについて、アンケートをとることがある。これを学校としてではなく、PTAとして行っている。それでもほとんどの人が答えてくれる。全員が気軽にスイッチを押してくれる。私はこれも参加だと思う。暗い話もあれば重たい話もあるが、ほとんどの方が参加してくれる。こう</p>

	<p>いうことを土台にして、とにかく保護者の参加意識を高め、学校がその都度変わっていくという様子を見てもらう。保護者が参加したということが大事になる。これは今後の PTA 活動ではなく、学校園と保護者のあり方だと考えており、このような活動を支えていただくのが PTA 活動だと思っている。</p> <p>担い手不足は永遠の課題であるが、無関心な人たちがボタン一つでも押してみようと思えるような、本当に保護者の関心が高いことから話を持っていく方が、大多数の無関心な人を少しでもこちらに引き寄せられる可能性があると考えます。</p> <p>皆様の熱心なご発言により今回も協議を進めることができた。冒頭申し上げたように、今後、報告書の再編作業を進めさせていただくので、皆様のご意見を修正も含めて見え消しなどの形で情報提供いただきたい。具体的の方法については、事務局から連絡させていただく、</p> <p>この最終報告書については、全体での協議の場は今回が最後となるので、報告書の最終形については、座長、福本副座長、事務局に一任いただきたいがよろしいか。</p> <p>(異議なし)</p> <p>ではできる限り皆さまの意見を合わせた形でとりまとめられるように努めたい。それではこれもちまして川西市 PTA あり方検討会の協議を終了させていただく。皆様の熱心なご協議に感謝する。ここからは事務局より進行をお願いします。</p>
<p>事務局</p>	<p>座長・副座長挨拶</p> <p>越田市長挨拶</p> <p>今後の予定について</p> <p>【閉会】</p>